

解決策は「クマ殺せ」じゃない

ドショード、ネットなどでは『クマ出没』のニュースが流れまくっていますがそれらはどれも建設的な内容のものではなくクマ＝人殺し犯、クマ出没＝殺して解決…こんな薄っぺらい内容ばかりです。そのせいで一部の人たちは「クマ殺せ」で盛り上がっていますがこのクマ出没問題はなにも今に始まつたことではなく広島本部付近でもクマはこれまで普通に出てきていてその都度「クマが出たから気をつけましょう」と注意喚起がなされていただけで特に全国に上がるようなニュースでもなかつたです。安佐動物公園内にもクマは『毎年』出てきており職員たちはすでにクマが歩くルートを把握しているためそのエ

リアのみ閉鎖してほかのエリアは普通に開放します。なのになんに触発されたのか今年はその広島市ですかマが出来たら殺して解決の方向になり目撃情報があると箱ワナを仕掛け入ったクマは問答無用で殺して終わります！

潮目が変わったのは東北地方で起きた人身事故です。もちろん私といたしましても被害に遭われた方には申し訳ないと思うとともに安らかに眠つていただきたいと心からそう願つております。2011年3月11日東日本大震災が起こりその3日後に東北地方の被災地に行くことを発表したら「たくさん的人が亡くなりたくさん的人が困っているこんなときに犬猫どころじやないだろッ！」と《人命優

先論》をガンガンに浴びせられ叩かれまくりました。なにも私は人命を軽んじているわけではなく当時の私は犬猫のことなら私に任せくて！という根拠のない自信を持つて、こので※それは

マ飼い人間』のうちの1人です。私のクマは種としてはツキノワグマで去勢雄の6歳で名前はカツと申します（もう少しで7歳）。ツキノワグマは特定動物ですからもうろんうやんと飼育

から聞いた話です。被害に遭われた方は高齢のお母さまです。お母さまが外出しようと自宅玄関から出た瞬間、自宅の庭の柿の木のところで親子3匹のクマが柿を食べていたのが見えました。



A black bear cub is sitting inside a metal cage. The cub has dark, shaggy fur and is looking towards the right. The cage has a dark, textured base and is made of gold-colored metal bars. The background shows a room with a window and some furniture.

今も変わらない(笑)私は誰になんと言われようが私にできることをやろう!世間体を気にしてこのまま東北へ行かないでいると私は絶対に後悔する。モンモンとして夜眠れない。そんな眠れない夜を過ぎすぐらいなら思い切って東北まで行こう!の気持ちで東北の地に行つたのです。

そんな私は今、日本ではちよつとマニアックな《ク

さらに先日のことですが  
秋田県内で実際にクマに襲  
われて大ケガを負われた方  
のご家族と話をする機会に  
恵まれたことで、なんだか  
一気に進んで本日この内容  
を更新することとなつた次  
第です。秋田県内で実際に  
クマに襲われた方の娘さん

許可を取つて餌つておりま  
す。私はカツと暮らすよう  
になつてから自然界のクマ  
にも思いを馳せるようになつ  
たので昨今の『クマ出没』  
のニュースが流れるところ  
くてつらくて自分の精神を  
保つためにそれらのニュース  
は見ないよにして静か  
にやり過ごしてきました。  
ただもともと私の中ではカ  
ツが私のもとに来たのは偶  
然ではなく必然でうちに來  
た理由があるハズ！と強く  
思つていました。

から聞いた話です。被害に遭われた方は高齢のお母さまです。お母さまが外出しようと自宅玄関から出た瞬間、自宅の庭の柿の木のところで親子3匹のクマが柿を食べていたのが見えました。

て逃げて行つたみたいで、お母さまの異変に気付いた家族が外に飛び出したときはすでにクマ親子の姿はなかつたそう。お母さまは命に別状はないものの感染症予防として現在もＩＣＵで入院治療中です。

ここまで話を持ちたと

「ところで私はすぐにその娘さんに謝りました。『お母さんには大変申し訳ないことをしました。すみません』」  
すると娘さんは「いえいえ中谷さん！これは人災なんですよ！クマが悪いんじゃないです！これまで秋田県が山の整備もせずクマが出たら殺すという蛮行を繰り返してきたからです！」とおっしゃいました。被害者の娘さんは自分の母親をひどい目に遭わせたクマを憎んでないの？驚いている私に娘さんは「それがおかしいの！母なんてね、転がされながらクマを近くで見たもんでね。かわいい顔してたんだよ」と言つてます」  
入院中のお母さんは自分をひどい目に遭わせたクマを憎んでないの？娘さんは「秋田県はこれ以上クマを殺してどうするつもりなんでしょう」とも言つておられました。私は驚きました。  
クマに襲われた人とその家族がクマを憎んでも恨んでもいない。そりか私が襲われたとしても私も私の周り

の人間も誰ひとりとしてクマを憎まんし恨まんじやろうね。もしそのときに私が死んでも私はきっと本望じやろし私の周りの人間も「中谷さんらしい一番いい死に方じやね」と言うでしよう。ちなみにこんな発表をしている県もあります。【栃木県の発表】下野新聞によると今年の《栃木県内》はミズナラ・コナラのどんぐり類が豊作だから栃木県内ではクマの出没が減つている【広島県の発表】今年はクマの出没が減つており専門家分析では連日のようにくマによる死傷者が出ている東北地方ではドングリやブナが不作だが西中国山地ではクマのえさとなるドングリやブナなどが豊作なのが要因でクマの出没が減っているのだろうとのこと【岡山県の発表】10月末現在クマの出没件数は32件で昨年度の同じ時期と比べて約3割にとどまっている。山に食料となるものが豊富なので下（人里）まで降りてきてない個体が多い

から、だという。ツキノワグマに限らず野生動物はお腹が空くと余裕がなくなり食べ物を探します。ニホンジカも二ホンザルもイノシシもタヌキも昔飼っていたアライグマもみんなそう。それぐらい野生動物はギリギリのところで生きており野生動物にとつて食べ物のあるなしはイコール生きるか死ぬかなのです。

これらを鑑みると誰だつて『緩衝地帯による対策』がナンセンスだとわかります。人家と山の間に緩衝地帯を設けあちらが人間のエリア、こちらが野生動物のエリア、山すそをヤブにしないように下葉を刈つて遠くをよく見えるようにすると野生動物が人間のエリアには来ないとゆう発想。ですがうちの近所じやう鹿もイノシシも向こうがよく見える道路を普通に渡つてます。なんなら広島本部の第3倉庫あたりでは広島本部から500mぐらい離れてるツキノワグマも普通に道路を

渡つてますしね。たまに騒がれています。やはり出没防止にはこれ一択『山の整備＆保全』これしかないんですよ！【餓死を選ぶ生き物はいません】食べ物と飲み水さえあれば山から出てくる必要はせんせんないのです！ひとつの種が絶滅すると必ず生態系にひずみが出ます。かつて北海道では牧場の牛が狙われるつてんで野生のオオカミを撃ちまくつて絶滅させてしましました。そのせいでも天敵が居なくなつたエゾシカが増え農作物を荒らすと大問題になつています。私たちはこの『不幸の連鎖』を忘れてはならないのです。山を整備して実のなる木を太く元気によみがえらせる活動を犬猫みなしご救援隊は広島市の『ふるさと納税』を活用して行つています。どうかこの活動にご協力のほどよろしくお願ひ致します。



広島本部  
〒731-0234  
広島市安佐北区可部町今井田690-2  
TEL:080-3522-3745